

第7期岐阜県保健医療計画(障がい児(者)医療対策)・第3期岐阜県障がい者総合支援プラン(重症心身障がい・医療的ケア児者支援の充実)に係る進捗状況

※第7期岐阜県保健医療計画(第3部 保健医療施策の推進 第3章 医療・福祉の連携 第2節 障がい児(者)医療対策)

※第3期岐阜県障がい者総合支援プラン(第4章 分野別施策 IV 質の高い保健・医療提供体制整備 2 障がい児者に対する医療と福祉の連携による充実 (4)重症心身障がい・医療的ケア児者支援の充実)

区分	番号	事業名	委託先・実施機関	予算額 (単位:千円)		令和4年度実績/令和5年度事業	実施年度
				令和4年度	令和5年度		
在宅障がい児者家族支援	1	在宅医療的ケア児等短期入所等支援事業費補助金	県直轄	26,100	29,300	・医療的ケアに必要な超重症児者・準超重症児者等に対して短期入所・日中一時支援を行った場合に必要となる経費の一部について一定額を補助。 【令和4年度実績】 医療機関・福祉施設数16か所(医療機関:か所、福祉施設:7か所) 年間延利用者数:5,047日人 月平均利用日数:421日、月平均利用回数:389回	H28～
	2	在宅医療的ケア児等訪問看護支援事業費補助金	県直轄	2,100	2,100	訪問看護事業所が、「長時間訪問看護加算の加算対象外の医療的ケア児者」「週4日以上長時間訪問看護利用にて加算が算定できない超重症児・準超重症児」に対して、通常の訪問看護に引き続いて長時間訪問看護を実施した場合に、必要な経費の一部について一定額を補助。 【令和4年度実績】0ヶ所	R4～
	3	短期入所等利用促進体制整備事業費補助金	県直轄	800	400	・医療的ケアが必要な重症心身障がい児者を受け入れている短期入所事業所で、送迎車両の修繕費用など、利用者の利便性向上に資する取組みに対して補助。 【令和4年度実績】0ヶ所	H28～
	4	要電源重度障がい児者災害時等支援ネットワーク構築事業	県直轄	1,000	670	・人工呼吸器など日常的に電源を要する医療機器を使用する重度障がい児者にとって電源の喪失は生命の危機に直結するため、長期停電を想定した備えが必要。 ・このため、医療機器の電源や医療資材の供給等について、有事の際に有効な支援が行えるよう医療機関、福祉施設、消防、電力会社、行政等の関係機関による協力・支援体制の在り方を検討する。 【令和4年度実績】 R4.6.29 市町村に対し、要電源重度障がい児者の把握及び災害時支援等体制に係る状況等調査を実施。 R4.8.17 要電源重度障がい児者の災害時等支援に係る市町村会議開催 R5.3.15 要電源重度障がい児者災害時等支援ネットワーク会議開催	H29～
	5	要電源重度障がい児者災害時等非常用電源整備事業費補助金	県直轄	6,750	7,530	・市町村が実施する、要電源在宅重度障がい児者が災害時等に必要とする非常用電源装置等の整備及び購入経費の助成にかかる事業の経費の一部について一定額を補助。 【令和4年度実績】13市町(24件) 【(参考)補助制度整備市町村】 令和4年度 20市町、令和5年度 30市町	R3～
	6	重症心身障がい在宅支援センター「みらい」の運営(医療的ケア児支援センター)					H27～
			相談機能	県看護協会	13,500	14,800	・「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づく医療的ケア児支援センターとして医療的ケア児者を含む在宅重度障がい児者の家族や療育機関向け相談窓口を整備。本所及びサテライト(中濃・東濃・飛騨)にコーディネーター(相談員)を配置し、電話・訪問相談のほか、必要に応じてカンファレンス等を実施。 【令和4年度実績】 相談件数:453件、カンファレンスを45件
		家族ネットワークづくり・研修機能 【令和5年度一部拡充】				・障がい児者の家族が気楽に集まって情報交換する場づくりや、家族同士をつなぐ機関誌の発行、HPを活用した情報提供サービスを実施。 ・令和5年度から、新たに保育所・学校等の教育機関に従事する看護師を対象に医療的ケア児の看護に必要な知識・技術を習得する研修を実施 【令和4年度実績】 家族交流会 5回延179人参加 全圏域対象オンライン開催 岐阜(R4.5.29:19人) 対面開催(オンライン全圏域対象) 飛騨(36人)、岐阜(74人)、中濃・東濃(27人)、岐阜(23人)	
	7	重症心身障がい児者いきがい創出支援事業費	社会福祉法人、保護者団体	3,500	3,500	在宅の重症心身障がい児者及び介護者に対し、ニーズに基づいた各種メニュー事業を行うことで、地域の中で豊かな生活を送ることができるよう、運動機能の低下防止や情緒の安定、介護者のリフレッシュなどにより重症心身障がい児者の福祉の増進を図る。 【令和4年度実績】 3事業者1団体	H19～

区分	番号	事業名	委託先・実施機関	予算額 (単位:千円)		令和4年度実績/令和5年度事業	実施年度
				令和4年度	令和5年度		
医療・福祉人材の育成・確保	8	小児在宅医療教育支援センター運営事業費	岐阜大学	7,000	7,000	・岐阜大学大学院医学系研究科に「小児在宅医療教育支援センター」を設置し、医療的ケアが必要な障がい児者とその家族の在宅生活を支える医療に携わる医療従事者等の人材育成と関係医療機関との連携支援等を図る。 <事業内容> ・小児在宅医療に関わる人材育成 ・小児患者の在宅移行支援 ・在宅医療に関わる医療資源の活性化と連携支援 ・移行期医療の支援 ・障がい児者医療の普及啓発	R2~
	9	重症心身障がい児者看護人材育成研修事業	県看護協会	4,100	4,100	・重症心身障がい児者看護人材育成研修 重症心身障がい児者の在宅支援に重点を置き、訪問看護ステーションや特別支援学校と連携した講義を組み込むなど、通年型・年間約72時間(全12日間)の専門研修を実施。 【令和4年度実績】修了者数:33名【令和5年度】受講者数:35人 ・フォローアップ研修 【令和4年度実績】呼吸管理手技講習会 受講者数:23人 摂食嚥下リハ・口腔ケア実技講習会 受講者数:19名	H26~ H27~
	10	小児在宅訪問看護人材育成研修事業	県訪問看護ステーション連絡協議会	300	300	・訪問看護師を対象に、在宅重度障がい児のケアに係る研修を実施。 【令和4年度実績】受講者数:28名 オンライン開催	R2~
	11	小児・障がい児(者)リハビリテーション専門研修	県理学療法士会	500	500	・理学療法士等を対象に、障がい児者リハビリの基本である小児リハビリ等に関する研修を実施。 【令和4年度実績】受講者数:89名 オンライン開催	H28~
	12	医療的ケア児等コーディネーター養成研修等事業	県福祉事業団	1,700	2,050	・日常的に医療的ケアを要する重度障がい児者が地域で安心して暮らしていけるよう支援を総合調整するコーディネーター等を養成するため、相談支援専門員等を対象に、重度障がいや医療的ケアに関する専門知識や支援のスキルを習得する研修を実施。 【令和4年度実績】受講修了者:44名(コーディネーター36名、支援者8名)	H29~
	13	福祉事業所等医療的ケア支援事業費補助金	県直轄	3,000	3,000	・医療的ケアの必要な重症心身障がい児者を受け入れている生活介護事業所等が、外部の看護師、理学療法士、歯科衛生士等を活用し、訪問看護や訪問リハビリ、口腔ケア等の機会を提供するとともに、実際のケアを通じて、事業所職員の介護力向上を図る取組みに対し、訪問看護師等の招へいに要する費用の一部を補助。 【令和4年度実績】39件	H28~
	14	喀痰吸引等研修促進事業	喀痰吸引等登録研修機関	2,100	2,478	・痰吸引等の医療的ケアができる介護職員を増やすため、喀痰吸引等研修のうち、基本研修の受講料を無料とする支援を行う。 【令和4年度実績】5回62名(岐阜2回、西濃1回、中濃・東濃1回、飛騨1回)	H27~
	15	喀痰吸引等研修補助事業	喀痰吸引等登録研修機関	500	600	・痰吸引等の医療的ケアができる介護職員を増やすため、喀痰吸引等研修のうち、実地研修に要する経費への一部補助を行う。 【令和4年度実績】11件	H26~
多職種連携・普及啓発	16	東海三県小児在宅医療研究会	県直轄	2,700	2,457	・岐阜・愛知・三重それぞれの取組みの共有を図り、相互に交流連携できる関係づくりに向け、三県の研究会が一堂に会する東海三県小児在宅医療研究会を開催(三県持ち回りで幹事を担当)。 【令和4年度実績】 第9回 三重県開催 235人参加 テーマ 地域共生社会の創造に向けて	H26~
	17	岐阜県小児在宅医療研究会	県直轄			・医療、福祉、教育、行政等の関係者が一堂に会して知見を深め課題を共有し、顔の見える関係を構築する場づくりとして「岐阜県小児在宅医療研究会」を開催。 【令和4年度実績】 第12回 253人参加 オンライン開催 テーマ 医療的ケア児の支援について～在宅生活を支える地域の取組～	H25~
	18	圏域版小児在宅医療研究会(西濃圏域)	大垣市民病院			・西濃圏域における大垣市民病院NICU看護師を中核とした、小児・障がい児在宅移行支援の取り組みをモデルとして、その意義や課題・成果の共有や他地域への波及を図るため、圏域単位の小児在宅医療研究会を開催。 【令和4年度の状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により次年度へ開催延期。	H28~
	19	障がい児者支援を考える公開連続講座の開催	県直轄	700	943	・障がい児者医療・福祉に携わる県内外の医師、看護師、療法士等を講師に、医療・福祉関係者や県民が障がい児者支援を考えるための連続講座を開催。 【令和4年度実績】 全3回(11月~12月 Youtube配信) 視聴回数:延812回 テーマ 第1回 重症心身障がい児及び医療的ケア児への支援 ~長良特別支援学校における学びと支援~ 第2回 重症心身障がい児の相談支援と療育について 第3回 在宅療養者と家族に寄り添う災害支援と備えのデザイン	H26~
	20	NICU等からの在宅移行支援事業補助金【令和5年度新規】	県直轄	-	1,000	・NICU等に入院する医療的ケア児が在宅生活に移行をする際に、訪問看護師等がケース検討会等に出席する経費や医療的ケア児の自宅訪問・外泊訓練を行う経費を助成	R5~
21	岐阜県障がい者総合支援懇話会(重症心身障がい・医療的ケア部会)の開催	県直轄	400	400	・障害者総合支援法及び児童福祉法の改正(平成28年6月3日公布)を踏まえ、保健、医療、福祉、教育、保育等の関係機関による協議の場として「岐阜県障がい者総合支援懇話会(重症心身障がい・医療的ケア部会)」を開催 【令和4年度実績】1回開催	H28~	

第7期岐阜県保健医療計画・第3期岐阜県障がい者総合支援プランの達成目標に係る取組状況

項目	設定事項	設定単位	基準値 (時点)	R5年度 末目標	R4年度末 実績	R3年度末 実績	目標の達成状況等	分析・今後の課題等
			①	②	③	③		
医療的ケア児等支援のための関係機関の協議の場の設置 (市町村においては、圏域での設置を含む)	県数	県	1 (R元)	1	1	1	目標達成済み。	目標達成済み。
	圏域数	圏域	5 (R元)	5	5	5	目標達成済み。	目標達成済み。
	市町村数	市町村	14 (R元)	42	21	21	目標値の50%に留まり目標達成には至っていない。	全市町村で設置されるよう、設置を促す。
超重症児(者)・準超重症児(者)の医療型短期入所月平均利用日数	平均利用日数	日	290 (R元)	369	553	308	目標達成済み。	短期入所の利用ニーズは依然高いため、今後も利用促進を働きかけていく必要がある。
超重症児(者)・準超重症児(者)の受入れが可能な医療型短期入所事業所数 (累計)	事業所数	箇所	19 (R元)	21	20	20	目標値まであと1事業所となっている。	今後も、事業所数の少ない圏域、利用ニーズのある圏域での開所を働きかけていく必要がある。
医療的ケア児等に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数 (累計)	配置人数	人	17 (R元)	60	40	25	目標値に対し、約67%の進捗状況となっている。	引き続き医療的ケア児等に対する医療・福祉等関連分野の総合調整できる人材育成を図るとともに、市町村等に対してコーディネーターの配置について働きかけていく必要がある。人材育成面では、医療的コーディネーター養成研修を平成29年度から実施し、令和4年度末までに179名が受講している。